

シラバス (介護職員基礎研修)

指定番号 _____ 課程 介護職員基礎研修課程
 法人・団体名 株式会社 松島紙店
 課程編成責任者 小又幸成

研修区分 標準型(500時間) 実習免除型(300時間) 科目免除型(I)(200時間) 科目実習免除型(I)(60時間)
 科目免除型(II)(350時間) 科目実習免除型(II)(150時間) 演習及び実習(実習事業者のみ)

科目番号・科目名	(1) 生活支援の理念と介護における尊厳の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間観や人間像の理解に基づいた尊厳を支える介護・福祉について理解させる。 ・介護・福祉サービスの提供するにあたり、基本的視点の形成を促す。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人間の理解	6	6	0	《目標》人間理解と尊厳を理解する 《講義内容》・人間理解の視点、豊かな人間観、多様な価値観 ・ 老い ・ 尊厳 ・ 死生観 ・ 性
② 生活の考え方	6	6	0	《目標》生活とは何かを説明でき、多様な生活支援をする重要性について、事例に基づいて説明できる。 《講義内容》・生活の定義・生活支援の考え方
③ 福祉の考え方	12	12	0	《目標》ノーマライゼーションの概念を、高齢者や障害者の事例に基づいて説明できる。 QOLの意味を説明でき、高齢者や障害者の生活事例に基づいて説明できる。 《講義内容》・これまでの福祉の考え方の流れ ・ ノーマライゼーション・QOL ・ 家族介護から社会介護へ ・エンパワメント、共生
④ 介護の基本的視点とケアワークの意義				《目標》家族による介護と専門職による介護の違いを説明し、専門職が介護することの意義を事例に基づいて説明できる。 介護の目指すもの、介護の専門性を説明できる。 《講義内容》・ 尊厳を支えるケア・介護の定義・介護職員の専門性 ・ 健康且つ主体的 ・ 能動的な生活に向けた支援等 ・ ICFの視点に基づく援助 ・ 介護の専門性とチームケア
⑤ 利用者の権利と尊厳	6	6	0	《目標》虐待の定義、身体拘束、及びサービス利用者の尊厳、プライバシー等を傷つける介護を説明でき、対応策を説明できる。 《講義内容》・ 権利擁護、アドボカシー ・ 虐待防止 ・ 身体拘束の禁止
⑥ 地域生活支援の理解と技術	6	6	0	《目的》全ての人に対する地域生活支援の意義、役割について概説できる。高齢者や障害者が、地域で生活継続するために、各種の保険・医療・福祉サービスや地域のインフォーマルなサービス・活動とのトータルなネットワークの重要性について概説できる。 《講義内容》・生活環境の捉え方 ・ 全ての人を対象とする地域生活支援・地域アセスメントの技術と方法 ・ 外出支援の技術 ・ 資源調整と啓発 ・ リスクマネジメント
修了評価				
(合計時間数)	36	36	0	

※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。

※ いくつかの項目をまとめて、時間数を設定しても差し支えない。

※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙4に定める時間以内とすること。

※ 通信学習を実施する項目については、通信学習課題を提示すること。(既に提示したものを除く。)